令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	公的不動産活用課担当課長 和田 一広	
行経-09	実施事業	庁舎管理事務	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 公的不動産活用課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市庁舎
意図	市庁舎の維持保全を図るため。
効果	設備関係の改修を重点的に行い、市庁舎の機能改善を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 市庁舎の総合管理業務及び維持修繕等を行った。 災害発生時における本庁舎の機能維持対策を実行するための具体的な整備内容等を示した、鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に基づき、本庁舎の整備や備品等の調達を行った。 予算の繰越しにより、機構改革に伴う電話移設修繕を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	214,223	219,923	当初予算(千円)	211,087		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	13,645	12,921	その他	8,939		
	一般財源	200,578	207,002	一般財源	202,148		
事業経費	人員配置数	4.8	4.4	人員配置数	3.3		
	人件費(千円)	37,240	34,477	人件費(千円)	25,768		
	総事業費(千円)	251,463	254,400	総事業費(千円)	236,855		
	市民1人当りの経費(円)	1,425	1,443	市民1人当りの経費(円)	1,342		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す → ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成30年度に予算を増額し鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に基づく改修・修繕や物品購入を行った。今後は建物の老朽化に伴う設備改修や日常的な修繕について、例年の予算規模を維持しつつ計画的に実施していく。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に基づく災害対策、機能維持に係る整備について、予算を増額して実施した。また、庁舎移転までの現本庁舎の設備改修や修繕については、効率的な予算執行が求められることから、事業内容や予算規模は現状維持とする。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に基づく整備内容の関係各課への周知及び計画に基づく整備の実施。 本庁舎の移転を視野に入れた庁舎の修繕。修繕が必要であり、かつ、多額の費用が発生する場合の対処についての検討。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に業務継続計画を行うための施設として必要な機能維持対策を講じるための具体的な整備内容を示した鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に則った改修・整備、物品の購入を行った。(例)ガラス等飛散防止フィルム貼り、天井劣化部補修、災害時用トイレ・負傷者用簡易ベッド等の購入。 本庁舎の移転を視野に入れた庁舎の修繕として、空調機のファンの軸を交換した。 	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎の移転を視野に入れた、修繕未実施箇所の対応について 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向	備考					
当該指標を設定した理由								
	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--